

令和7年度第1回静岡県入札監視委員会議事概要

- 1 開催日時及び場所 令和7年7月18日（金）午後1時30分～午後3時50分
静岡県庁別館9階特別第二会議室
- 2 出席者 委員長 田中博通（東海大学名誉教授）
委員長代理 岩崎敏之（静岡文化芸術大学デザイン学部教授）
委員 池谷てる代（NACS中部支部静岡分科会役員）
石巻幹子（公認会計士）
佐野公洋委員（弁護士）
服部乃利子（しずおか未来エネルギー株式会社代表取締役社長）
県説明員等 高梨交通基盤部長、萩原交通基盤部理事兼建設経済局長
事務局 平山建設業課長、増田技術調査課長 ほか
- 3 議事概要
 - (1) 入札・契約手続の運用状況の報告
令和6年10月1日～令和7年3月31日に県が発注した工事の入札・契約手続の運用状況等について、県から報告があった。
 - (2) 抽出事案に関する説明及び審議
委員が抽出した下記の5事案について、県から経過等の説明を受け、質疑を行った（主な質疑は、別紙のとおり）。
(抽出事案)
 - ・ 静岡地区新特別支援学校学習棟改修他工事
 - ・ 令和6年度県単治山(保安林機能強化)牧之原市海岸防災林ほか(平準化)工事
 - ・ 焼津漁港水産流通基盤整備焼津南防波堤（改良）工事（粘り強い対策工）
 - ・ 令和6年度〔第36-D4944-01号〕（一）韮山伊豆長岡修善寺線道路改築工事（道路拡幅工その2）
 - ・ 【第36-Z0603-01号】県営住宅田尻団地受水槽更新工事
 - (3) 審議の結果
抽出事案に係る入札及び契約手続について、意見の具申及び勧告はなかった。

質 疑	応 答
① 静岡地区新特別支援学校学習棟改修他工事 [財務部建築工事課] ・ 予定価格が高い割に、応札者が1者だけであつた。落札率も97.18%と比較的高い。また、同学校の建築工事も同じ業者が高落札率(99.13%)で落札しているが、これらの経緯を確認したい。 ・ 監理技術者配置の緩和などの対応はできないのか。 ・ 工期は13か月、週休2日工事となっているが、週休2日を考慮した工期となっているか。	・ 建築工事においては、技術者不足等により入札参加者が少ないことが多い。 ・ 同一敷地内で発注した新築工事の受注者が改修工事においても経費等削減できることは明らかであるため、他の業者が入札参加を見送ったと推測される。 ・ 県でも技術者の兼任制度について活用しているが、建設業法の運用を超えての対応はできない。 ・ 週休2日を考慮した工程により発注しており、無理のない無工程となっている。
② 令和6年度県単治山(保安林機能強化)牧之原市海岸防災林ほか(平準化)工事 [経済産業部志太榛原農林事務所] ・ 平準化工事の選定要件及び直近年度の適用対象工事の内容、スライド条項の適用が適法にされていたか、同一業者が類似工事を随意契約で契約している関連性等について確認したい。	・ 前年度に工事発注することにより、6月以降の工事の集中を緩和し、年間の工事の平準化を図ることを目的としている。選定箇所は、地元要望、気象条件、地形・地質、被災状況、緊急性などの様々な項目を総合的に判断して選定している。 ・ 今箇所は、海岸防災林で、潮害、飛砂、風害防備、高潮の勢いを弱めることで、住宅などへの被害を軽減する高度な機能を有する森林であり、マツ材線虫病の被害が発生していること等から選定した。 ・ 令和7年5月20日に、「令和7年3月から適用する公共工事設計労務単価についての運用に係る特例措置による契約金額の変更について」に基づき変更契約を行い、当初契約額と比べて44,000円増となった。概算790,000円の労務単価の増額であるが、伐採数量を減じたため、変更契約額は44,000円増となった。 ・ 同年度に同一業者と類似工事を随意契約しているが、場所は本工事と同じであるが、枯れた松を伐採する工事であり、実際に伐採する松は異なる。

質 疑	応 答
・危険木の除去はどのようにされているのか。木以外にこういった建設副産物があるか。 ③ 焼津漁港水産流通基盤整備焼津南防波堤（改良）工事（粘り強い対策工） [交通基盤部焼津漁港管理事務所] ・当初から指名数1社のみであったのか。 ・落札率が91.8%であるが予定価格の設定は妥当であったのか。 ・粘り強い対策工というものが特殊なものであるのか。 ④ 令和6年度【第36-D4944-01号】（一）韭山伊豆長岡修善寺線道路改築工事（道路拡幅工その2） [交通基盤部沼津土木事務所] ・複数入札で99%を超える入札率で落札しているがどのように考えているか。	・木について、幹が10センチ以上について、買い取り業者へ持ち込む。10センチ未満の枝条等は有償の処分場で焼却処分している。 ・本工事は、制限付き一般競争入札総合評価簡易型Ⅱで実施した。入札参加資格要件を満たす者は37者あり、入札参加資格確認申請者2者から提出があった。入札を実施したところ、1者が辞退となり、1者の入札という結果となった。 ・入札者から提出された入札価格内訳書と設計書を比較すると、直接工事費と共通仮設費までは、設計金額と同額であり、残る現場管理費と一般管理費を低く抑えることで落札額を設定していることから、予定価格の設定は妥当と考えている。 ・粘り強い対策工とは、発生頻度の高い津波、レベル1を超える津波に対しても粘り強く抵抗し、全壊に至るまでの時間を少しでも長く伸ばし、背後市街地への津波到達時間の遅延及び被害の軽減、防波堤の早期復旧が可能となる対策を講じたものを示す。今回工事の場合、防波堤本体にコンクリートで腹付けする工法を採用しており、特殊なものではなく、粘り強い対策工としては一般的な工法に該当する。 ・公共工事に関しては、積算基準や単価が公表されており、価格が算出しやすくなっている。そこから、各社の経営状況や、資材の需給状況、施工条件、手持ち工事良、現場に配置しなければならない予定技術者の状況などから応札額を決定することとなるが、その結果、高い落札率になったと考えている。

質 疑	応 答
・今回の工事は「その２」であるが、「その１」もあるのか。	・「その１」は「その２」とほぼ同箇所の工事である。資料４ページの平面図のオレンジ色の部分が「その１」の工事で、赤色の部分が「その２」の工事である。「その１」は主に既設陸開の取り壊しと新設工事で、「その１」の施行後に「その２」を実施している。なお、「その１」と「その２」は同一業者が施工している。
⑤ 【第 36-Z0603-01 号】 県営住宅田尻団地 受水槽更新工事 [交通基盤部島田土木事務所] ・落札率が 76.3%とあまりに低い。低入札価格調査を行った上で契約しているが、他の応札者も予定価格よりも安く、25%も安く工事ができるというのは、予定価格はどのように設定されたのか。 ・実績価格との乖離は、例えば人件費であったのか、ポンプの機械の値段であったのか。 ・入札結果において、業者間の加算点の差が大きいが、どのような加算を行ったのか。 ・加点内容は先に分かっているのか。	・今回の落札者は、多くの作業を自社で行うことができるということであった。また、低入札調査対象工事では技術者の兼務ができないが、ヒアリングにおいてその点も問題ないことを確認している。また、協力関係にある、工事实績がある複数の業者から製品を購入し、下請契約するといった企業努力もあったと推測される。 ・受水槽、加圧給水装置の製品が大きな割合をしめているが、その単価に相違があることで確認している。 ・今回は総合評価落札方式簡易型Ⅱで実施しており、入札価格の他に、企業の施工能力、同種工事の受注実績、過去の工事成績等を加算点としている。それらの有無等で差が生じている。 ・入札公告の段階で、加点項目等をお知らせしている。
⑥その他 ・入札参加停止措置となった場合、契約中の工事の取扱いはどうなるのか。 ・入札参加停止の原因となった違反等を行っていた時期に契約した工事についても影響ないのか。 ・例えば工事事故を起こし、入札参加停止となった場合、請け負っている他の工事は契約解除などの対象とならないのか。	・契約中の工事については、契約を続行するものとし影響がない。 ・事由判明時に措置を行うのみであり、事由発生時に遡ってペナルティを課すことは行っていない。 ・安全措置が確認できるまでの間は、他の工事を一時的に中止する場合もあるが、安全が確認できれば工事は続行する。

質 疑	応 答
・ 入札参加停止措置を受けたのであれば、契約済みの工事についても何らかの指導等を行ってもよいのではないか。	(次回報告)